

環境厚生分科会委員長報告

H30. 9. 26

環境厚生分科会に付託されました平成29年度一般会計、各特別会計及び企業会計決算について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、**第6号議案 平成29年度一般会計決算の本分科会所管分**であります。その主なものは、民生費及び衛生費であり、その内容は、市民の生活を守る各福祉事業、くらしに密着する環境衛生事業、健康を守る保健衛生事業などであり、おおむね予算に沿って、事務事業が執行されてきました。

採決に先立ち、討論では、違法なものがある中で、本決算を認めることができない、また、マイナンバー制度自体に反対の立場から、それに関連する事業について反対とする討論がありました。一方、厳しい財政状況の中で、一定の成果を出しているとの賛成討論があり、採決の結果は賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

なお、認定にあたり、福祉部門における専門性の高い人材を確保する仕組みづくりを図ること、事業の廃止・見直しについて、全体を見て必要な所には予算を配分することを指摘要望するものです。

次に、**第7号議案 平成29年度国民健康保険事業特別会計決算**であります
が、国民健康保険法に基づき、医療を保障し、福祉を増進するため事業が
実施されており、適正な運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は全員をもって認定すべきも
のと決定しました。

次に、**第9号議案 平成29年度休日診療事業特別会計決算**であります
が、休日等の応急的な診療を行い、市民に定着している事業であり、適正な運営
に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべき
ものと決定しました。

次に、**第11号議案 平成29年度介護保険事業特別会計決算**であります
が、介護予防事業や各種介護サービスの実施等、適正かつ円滑な運営に努め
られていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は全員をもって認定すべきも
のと決定しました。

次に、**第 12号議案 平成 29 年度後期高齢者医療事業特別会計決算**であります。保険証等交付、給付申請、保険料の徴収等を実施し、制度の円滑な運営に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第 17号議案 平成 29 年度病院事業会計決算**であります。全国的にも地域医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、市域に唯一の公立病院として安定した医療の提供を行うための経営改善に努められていました。

本決算については別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単であります。本分科会の報告といたします。

《環境厚生分科会》

平成30年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	高齢者生活支援経費	3 見直しの上継続	<ul style="list-style-type: none"> ○従前からの事業にとらわれることなく、広い視点で事業を検討されたい。 ○財政状況が厳しさを増す中で、経費のかからない方法を検討されたい。
2	家庭相談員等設置経費	1 拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○国の補助制度の有無にかかわらず、必要な体制を整備されたい。 ○専門性の高い人材を確保する仕組みづくりを進められたい。 ○離婚前に自立を促進させる取組みの検討を進められたい。
3	ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費	3 見直しの上継続	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者のニーズを適切に把握し、長期的な視点での支援に努められたい。 ○制度を利用しやすくするため、事業のすき間を拡充されたい。
4	子ども・子育て支援経費	3 見直しの上継続	<ul style="list-style-type: none"> ○地域での取組みがさらに広がるよう検討し、引続き事業を継続されたい。